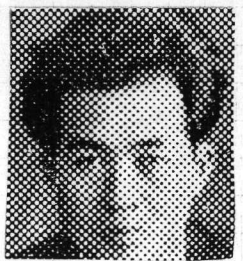


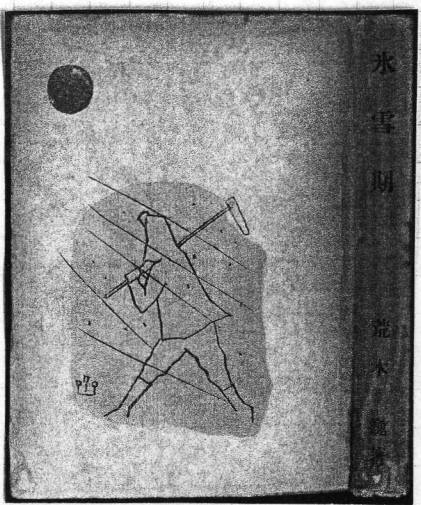
荒木巍 （あらい たけな） 小説家。明治二十八年十月四日東京生れ、昭和二十五年六月四日没（一九五一年）。本名是隆 （しりゅう）。別名下村恭介。昭和七年東京帝
 國大學文學部支那文學科卒。翌年雜誌『改造』の懸賞小説に當選、次
 が高見順、新田潤等と『白潜』を創刊。十一年『人民文庫』同人、戦
 後『新人』編輯長。

著書『渦の中』（昭和十一年十一月、千白冊和書院）『青年作家叢書』、
 『世間の顔』（昭和十二年五月、千白竹村書房）、『雷鳴』（昭和十
 二年十月、千白版画社）『版画社文庫』、『短篇—四十人集』（合著
 ・月刊文章編輯部編、昭和十五年二月十八日厚生閣）、『女の手帖』
 （昭和十五年八月、千白河出書房）『短篇集叢書』、『詩と眞實』（昭
 和十五年九月、千白河出書房）『書と下ろし』『長篇小説叢書』、『百姓
 魂』（昭和十五年十一月、千白洛陽書院）『開拓文藝選書』、『續詩
 と眞實』（昭和十六年二月、千白河出書房）『書と下ろし』『長篇小説叢
 書』、『地へ芽ぐむ』（昭和十六年七月十三日河出書房）『書と下ろし』
 『小説叢書』、『炎天』（昭和十六年九月、千白竹村書房）、『芥川
 龍之介研究』（合著・大正文藝研究會編、昭和十七年七月五日河出書
 房）、『幸運児』（昭和十七年十月、千白博文館）、『氷雪期』（昭

和十八年二月、千八百六藝社）、『歴
 史をつくる者』（昭和十八年四月十九



自新太陽社）、『心
 の河』（昭和十八年
 五月、千白河書房）、
 『峠』（昭和十八年



十月一日櫻井書店）、可子大隊遺聞（昭和十九年九月十日博義館）、
『京』（昭和二十一年六月二十日赤坂書店）等。